

2019(平成31年～令和元年)年度事業報告書

2019年(平成31年)4月1日から2020年(令和2年)3月31日まで

特定非営利活動法人大学経営協会

1. 事業の成果

(1) 本協会の活性化を図るための施策

今年度の具体的な活動内容については随時検討を行い、具体的には、総会の講演内容、秋の講演会および新春講演会のテーマ・講演者等について検討しました。

(2) 新規団体会員の勧誘活動

今年度の新規団体会員の勧誘につとめ、今年度からの参加大学2法人、企業会員2社が入会しました。なお、個人会員会費は6月の総会にて1口3万円とすることを可決しました。

(3) ガバナンス委員会の活動

今年度のガバナンス委員会は昨年度に引続き「教員評価と処遇への反映」について議論を重ね、先進的な取組事例として、国立大学2校(茨城大学、信州大学)。私立大学2校(大阪電気通信大学、上智大学)から事例発表をいただきました。また、文部科学省高等教育局より国立大学人事給与改革について発表していただきました。

その後2020年度総会に向けて、「教員評価と処遇への反映」について、審議のまとめの作成を開始しております。

(4) 財務委員会

大学経営を巡る環境がますます厳しくなる中、昨年度は「資産運用の管理体制等の在り方について」審議のまとめを発表いたしました。今年度は、次に調査研究を行うテーマについて審議を重ね、海外の大学をベンチマークとしつつ、私立大学の財務基盤を強化するための方策について検討することとし、先ず米国の大学の事例について協議を行いました。 □

□

(5) 100年委員会

高等教育セクターは量的にも質的にも大きなリソースを有している中、人生100年時代を迎え、経営戦略をどう考えるべきか、大学での学びはどうあるべきか、リカレント教育をどう展開すべきかなど、様々な構想やアイデアを検討するための委員会を設置し活動を開始しました。手始めに委員(12名)から順次今後の高等教育について考えるところを発表頂きました。今後はテーマを絞り込んで検討していく予定です。

(6) 総会後の記念講演会、秋季講演会および新春講演会を開催

2019年6月、総会後の記念講演会として文部科学省 伯井高等教育局長より「今後の高等教育政策の動向について」、桜美林大学の篠田教授より「直面する大学経営・大学改革の課題について」ご講演をいただきました。

秋季には文部科学省 松坂私学行政課長より「私立学校法の改正によるガバナンス改革の推進と高等教育改革の現状」について、日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 西井主幹より「私立学校法の一部を改正する法律 私学経営への影響について」ご講演をいただきました。

また、新春には文部科学省 井上私学助成課長より「私学助成と私学を巡る当面の課題について」、東京大学大学院教育学研究科 両角准教授より「成果の上がる中期計画の策定・運用について」ご講演をいただ

(7) 「情報の発信」

情報が古くなっていたホームページを見直し、更新・改訂しました。また会員に対する情報提供の一環として、News Letterの発行を開始しました。不定期ですが月に1度の発行を目指しNo1～No13まで発行しました。

2. 事業の実施に関する事項

(特定非営利活動に係る事業)

事業名	内容	実施日等	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
情報収集・普及事業	ホームページによる広報、資料の購入・配布	随時	法人の事務所	3名	会員及び高等教育に関心を持つ一般市民、団体・企業	3,037
	パネルディスカッション・講演会・懇談会開催	3回	日本プレスセンタービル他	349名	会員及び高等教育に関心を持つ大学・企業	
大学等経営改善支援事業	ガバナンス委員会	6回	日本プレスセンタービル	89名	大学関係者及び当協会会員	494
	財務委員会	5回	日本プレスセンタービル	35名	大学関係者及び当協会会員	
	100年委員会	4回	日本プレスセンタービル	48名	大学関係者及び当協会会員	
合 計						3,531